



身近な農を楽しむ

日本の和食が世界無形文化遺産登録
 熊本の阿蘇が世界農業遺産登録

Rural environment

建アロ農園 小学校の給食の献立表に「シシリアンライス」が紹介されていたので、子供と一緒に作ってみました

そうめん

夏といえば・・・そうめん！！



作り方は、簡単！
 1枚のお皿に温かいご飯を敷き、その上に炒めた肉と生野菜を盛り合わせ、マヨネーズをかけたものです。肉の味付けには、焼肉のタレを使い、野菜は家にあったレタス、きゅうり、キャベツ、ミニトマトなどを使いました。
 シシリアンライスは、昭和50年頃佐賀市中心街にある喫茶店で誕生したそうです。名前の由来は未だに分かっていないようですが、現在でも喫茶店やレストランの定番メニューとして愛されている料理です。1/0



▲シシリアンライス



▲ブルーベリー

平輪農園 農園のメカは現在バスケットボールサイズです



種蒔きから1週間後も早くも芽が！！



冷素麺や流しそうめんが恋しく懐かしい季節です。鹿児島出身の小生には、ひとしおの思い出があり、お盆にはどの家でも「ソメンじゃっどん」と、お椀1杯の素麺のおもてなしがありました。指宿の唐船峡でのそうめん流しは、峡谷の涼風とともに格別の味が忘れられません。30年ぶりの唐船峡は、町営・民営店ともに大反響で1時間待ち、多い時には3000人の来客があるとのこと。官民努力の成果が隠し味に加わり大満足でした。

無農薬小麦を平和農園で栽培し脱穀、水車小屋製粉した地粉の手延べ素麺は、色が黒くて小さくて、コシが強くてまろやかで、これまた格別の味です。しかし、無農薬栽培から手作り作業はコストが高い。類する無農薬や手作り産物や製品を機械作業製品と同価格で買っても良いのだろうか。このままでは良いものを作る人がいなくなるのでは？という危機感があります。T/M

今年も、7月19日に恒例の「大豆の種蒔き」を行いました。ホクホクに耕された畑に15cm間隔で2粒ずつ緑の大豆を蒔いていきます。昨年は猛暑により3度試みた種蒔きも不作となり、収穫出来ませんでした。今年は種まき部隊と土のKABUSE部隊に分かれて、完璧に蒔いたつもりです・・・あとは、1ヶ月後に大きく成長してくればおいしい枝豆が食べれる？はずです！！
 T/B



▲みどり大豆

身近な土木文化を楽しむ

空からの調査業務開始！
 調査に活用しては如何ですか？ Civil Engineering

災害復旧から復興への架け橋に

九州北部豪雨災害（平成24年7月12日）が発生してから2年経過しましたが、人手不足や資材高騰等の諸事情により、復旧工事が進まない状況ではないかと思われます。当社においても災害直後から被災した「老良原橋」の復旧に向けた橋梁計画に携わり、第5次査定審査を経て昨年1月に業務委託が完了。その後、自社の業務フォローアップの一環で施工状況を確認し、工事完成の報告を受け本掲載することにしました。改めて、一瞬に発生した自然猛威に対し、微力な人間がいかに対応していくべきかを考えさせられた災害であったと同時に地域の復興へと願う次第です。K/H



▲災害直後H24年7月19日撮影 ▲完成写真H26年7月25日撮影



身近な地産地消

近年、国土強靱化基本法に代表される老朽化対策分野において、維持管理等の問題が注目されています。今後、地方のインフラ整備を行う上で「建設資材の地産地消」による再生材を活用する仕組みは、地域の効率的な維持管理と産業廃棄物の軽減及びコスト削減だけでなく、地域産業の活性化につながると考えます。活用事例を挙げると、熊本県南に位置する重点港湾の道路環境整備事業において、歩道緑地帯の防草対策に「地産地消」の観点から、地元企業の廃材となる石灰焼却灰を再利用した防草舗装及び剪定工事で発生する廃木材をチップ化し敷設する維持管理の手法を立案しました。今後は、官民一体となった維持管理の仕組みを確立し、地域住民の利用・参加による持続的な管理を行うことが必要と考えます。T/M

■後記：熊本県内には、スケッチや写真に残したい風景や美味しい・懐かしい郷土料理等があります。まだまだ、気をつけて見るとビューポイントや歴史の重みを感じる文化的景観などの資源が沢山残されています。上記O内の四文字「千里同風」は、遠く離れた地にも、同じ風が吹いているという意味合いです。今後も皆さんへ地域の良さや文化などを紹介していきたいと考えています。この晴耕雨読は10名の投稿者の協力で作成しました。

空への新たな試み

弊社はマルチコプターを導入し空撮を開始しました。マルチコプターとは複数のプロペラとバッテリーで動くラジコンヘリで、小型軽量のカメラを搭載することで空中撮影が可能。本体は1人で持ち運べる軽さで、機材一式を車に積んで現場に向かうことができます。一見難しそうな操作も、各種センサーのアシストにより比較的簡単に習得でき、飛行時間は5～10分程度でバッテリーを交換すると再び飛行可能。活用として上空から地形の把握、橋梁や法面の調査、ソーラーパネルの点検、災害現場の調査等が期待できるが、飛行物体には常に墜落のリスクが伴うので細心の注意で運用する必要があります。K/S
 (※上記の写真は上空100mからマルチコプターで撮影したものです)

石刻のはなし

梅雨も明けよいよ夏本番が近づき、厳しい暑さが続いておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか。私は、少しでも涼みたく、よく川へ遊びに行っております。さて、川づくりの伝統工法のひとつ「石刻(いしばね)」を取り入れた事例をご紹介します。石刻は16世紀の終わりから17世紀にかけて加藤清正公により治水を目的に考案された工法で、菊池川に現存するほか、県内河川で現在も取り入れられている水制工です。今回、同工法は昨年豪雨により復旧した護岸前面に設けたもので河川増水時に背後地への影響を軽減するための予防保全対策として計画した。近年の厳しい財政状況と建設就業者不足の中、先人が残した知恵をお借りし、人命・財産を守ることを責務を痛感しております。K/N

涼風肌に心地よく、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか？



朝7時、1匹の油ゼミが我が家の西壁で羽化している姿を発見。ゼミは羽化する前日の夕方土の中から出て、木など登りその時を待つのだそうです。やがて、背中のカラが割れ柔らかい羽が出てくると、一晩かけて羽や体が乾かし飛び立つ。左スケッチは飛び立つ前の貴重な瞬間。H/N

▲アブラゼミ

熊本の方言でアカツショ



■ 芦北町の『塩せんべい』
 熊本県芦北町海から採れる塩は天然ミネラルが豊富に含まれ、体に悪いとされる硫酸ナトリウムを取り省き精選された塩を使ったせんべい。今年の6/10に芦北町の竹崎町長に挨拶に伺った折に頂いた「感動」の一品。さらに総務課長が玄関まで丁寧に送迎。こんなトップセールスをする町が熊本県にもあった。文化の重要性・教育の必要性を重要視した町。論語百選の冊子を幼稚園から中学校まで配布。それを教える筑紫汎三先生の偉大さに驚いた。県下の首長も斯くあるべし。H/N



▲塩せんべい



▲ケニアからの留学生

Sketch of the month

■ アフリカ人へ宿提供
 友人からエセのボランティアを頼まれ我が家に宿泊する事になった2人。国を代表する2人には、教養の高さと人間性の素晴らしさに感動した。他国の人と触れ合いが孫たちにも良い刺激になったのではないだろうか。H/N



▲大津町大願寺桜門の狛犬

坂本村の堀川ばあちゃん



昭和58～63年頃、高速道建設時にお世話頂いた辻集落区長の奥様に30年振りに逢った(写真左上)。辻集落はマヂピチュに似た地形で、遙か下方に高速道が見える標高400m。当時33戸の世帯が、今は26世帯だと。さらに12世帯が一人暮らしと聞いた。しかし自分達が使う道は、自分たちで維持管理する姿勢が良い。現にガードレール支柱に竹ぼうきを20m間隔に並べ、常時路面管理できる体制で維持されている(写真右上)素晴らしい！H/N

身近な環境を楽しむ

緑葉人を招く

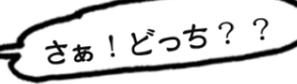


「気象展欠」近年の展開の読み難い天気予報を表現してみました。7月16日には「今日から鳴き初めます」とばかりに蝉の第一声がやってきました。自然の移ろいをなんとなく「ジネート」感じていたものが、予測外の変化や規模に「地球の変」を感じている方が多いのではないのでしょうか。今年の「夏」はどんな風でしょうか？蝉、風鈴、金魚、田んぼのカエル、麦わら帽子、花火、ひまわり、トンボ。あなたには、まだ新鮮に見えていますか。聞こえていますか？「熱中症」も夏の風物詩となってきて感じます。人が弱くなったのかな・・・暑くなったら木陰で休みましょう。A/T

かかしの横綱対決

“勝つのはどっちだ”

5月から6月にかけて天草・阿蘇地方を散策中、里山風景の中に、突然「かかし村」が出現。表情があまりにもユーモラスでもあり出来栄が良かったので、今回は東西対決勝負で紹介することにします。①東の横綱は阿蘇郡産山村田尻に県道南小国波野線沿いの丘陵地の「かかし村」、地域の特色である牛酪酪農一家やゴルフ等のリゾート地を表現しており、ほんのりとした人情豊かな温かい家族愛で、村全体で来る人を歓迎しているような感じを受ける作品。②一方西の横綱は天草市宮地岳町の国道266号線沿いの田園地帯の「かかし村」、学校の授業風景や村祭り等、昭和時代が感じられる構図で、いきいきとした仕事やリアルな顔の表情は見る者を飽きさせない感動作品。これを見学した子供たちは何を学んだのかな？僕もガキ大将で出来が悪かった小学校当時を思い出して思わず赤面してしまいました。両地域も過疎化と少子高齢化が進む中で地域活性化のため、皆で協力しながら取り組む姿勢や心意気・活動に今回は本当に熱いものを感じました。B/I

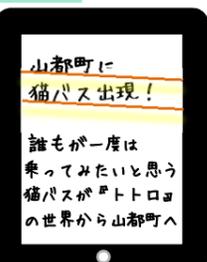


▲阿蘇郡産山村の「かかし村」



▲天草市宮地岳町の「かかし村」

中に入る事ができます！！



▲猫バス

我が家のグリーンカーテン

暑さ防止で、5月に植え付けた苦瓜の緑のカーテンが梅雨明けに合わせて、ネット全体を覆い右の写真のように屋根まで繁殖しました。ゴーヤと思って植え付けたつもりが、苦瓜であったため大変苦く我が家では不評で、破棄している。来年は間違いないよう確認してゴーヤを植え付けたいと思っている。Y/O



グリーンカーテン裏側



▲アヤメ

9月のハ朝祭(山都町)に出掛けてみて下さい！！